

# TASHIRO NEWS LETTER 85

発行 田代稚恵美ピアノ教室

暑さ厳しき夏、まだまだ残暑が続いておりますが、みなさま、如何がお過ごしでしょうか？

42441組が参加した2014年度第38回ピティナピアノコンペティションも8月22日（金）ホテルニューオータニでの表彰式・祝賀会をもちまして幕を閉じました。今回、当教室からは有永音羽（小1）、梅昌大（小2）さんがA1級（小2までの部）、大村栞（小3）、沼田遥菜（小4）さんがB級（小4までの部）、稲垣光希（小5）さんがC級（小6までの部）、石井美有（小3）さんがD級（中2までの部）に参加しました。稲垣光希くんだけがコンペ3回目の参加、あとの方々は2回目でした。今回はコンペ初参加の子がいませんでしたので、みな意識レベルも高く、一からお教えすることが少なく、そういう意味では私としては楽でした。今回のコンペでは全員が全国決勝大会に進むのではないかと思える程、みなが健闘しました。結果は3名が全国決勝大会に進出しましたが、あとの3名も全国進出まで僅差に迫る素晴らしい奮闘ぶりでした。また、今回は影山裕奈さん（小4）が検定に挑戦しました。成績は以下の通りです。

## 第38回 ピティナピアノ コンペティション 2014

指導者賞  
田代稚恵美

赤松林太郎先生と



全国決勝大会  
D 級



ホテルニューオータニでの表彰式・祝賀会  
田代、沼田遥菜、石井美有、梅昌大



全国決勝大会前日  
のホールレッスン

今回は全国決勝大会の前日、さわやかちば県民プラザのホールをお借りして、念願のホールレッスンをしました。年々、私も参加者も、以前は奇跡と思っていた全国決勝大会進出を当り前のように目指すようになりました。大きな目標を見据えて暑い中に努力をする子供たちの姿は胸を打ちました。

全国決勝大会 入選 梅 昌大 (A1級)	全国決勝大会 ベスト賞 沼田 遥菜 (B級)	全国決勝大会 ベスト賞 石井 美有 (D級)
----------------------------	------------------------------	------------------------------

### 本選

#### 本選1位

梅 昌大 (8/3 東日本埼玉2本選 A1級)

本選1位 北本支部賞 テクノファーム賞

石井 美有 (8/7 東日本茨城本選 D級)

#### 本選2位

沼田 遥菜 (8/6 東日本千葉2本選 B級)  
伊藤楽器賞

#### 本選優秀賞

石井 美有 (7/28 東日本1本選 D級)

沼田 遥菜 (7/31 東日本千葉1本選 B級)  
ヤマハ千葉店賞

有永 音羽 (8/3 東日本埼玉2本選 A1級)

稲垣 光希 (8/3 東日本埼玉2本選 C級)  
松沢書店賞

有永 音羽 (8/7 東日本千葉2本選 A1級)

大村 栞 (8/7 東日本茨城本選 B級)

#### 本選奨励賞

稲垣 光希 (8/8 東日本茨城 本選 C級)

### 予選

#### 予選優秀賞 (全員予選通過)

石井 美有 (6/21 新百合ヶ丘)

梅 昌大 (6/22 日立 )

大村 栞 (6/22 日立 )

石井 美有 (7/5 つくば )

有永 音羽 (7/6 越谷南 )

梅 昌大 (7/6 越谷南 )

沼田 遥菜 (7/6 八千代後期)

稲垣 光希 (7/6 つくば )

有永 音羽 (7/13 船橋III )

沼田 遥菜 (7/13 柏 )

稲垣 光希 (7/13 浦和 )

河合楽器賞

### 予選奨励賞

大村 栞 (7/6 越谷南)

### 検定

#### 検定優秀賞 (全員検定優秀賞)

石井 美有 (6/14 船橋2 )

梅 昌大 (6/15 船橋2 )

稲垣 光希 (6/15 船橋2 )

稲垣 光希 (7/19 北千住 )

影山 裕奈 (7/22 町田 )

石井 美有 (7/23 上野1 )

有永 音羽 (7/24 上野2 )

大村 栞 (7/24 上野2 )

沼田 遥菜 (7/24 上野2 )

稲垣 光希 (7/26 龍ヶ崎 )

梅 昌大 (7/27 龍ヶ崎 )



有永音羽ちゃん

有永音羽ちゃん（小1）は昨年に続いて2回目の参加。しかし参加レベルはA2からA1級に上がりました。なにしろ練習が好きではない音羽ちゃん、はじめの頃は一人だけ緊張感がないように見えました。これではただ参加するだけになるかと思っていた6月のはじめての検定で、音羽ちゃんの演奏を聴きながら、音楽性、技術共にいいものを持っていることを確信しました。音羽ちゃんにそのことを伝え、ここから音羽ちゃんの快進撃が続きました。練習時間も伸び、予選を見事突破。本選前日には一緒に船橋にホールレッスンに行きました。当教室のコンペ参加回数のトップは音羽ちゃんのお姉ちゃんの茜音ちゃんです。年長から小5まで6回続けて参加。好成績を残しました。それに続けてコンペ8回目の参加になるお母さまのナイスフォローも功を奏し、本選優秀賞。それも限りなく全国決勝大会行きに近い成績でした。惜しい気もしましたが、このコンペ参加で音羽ちゃんは確実に大きなものを学び取ったと感じました。がんばったね！

梅 昌大くん（小2）も昨年に続いて2回目の参加。昨年同様A1級です。恵まれた体格、豊かな音、コンペに有利のように思えますが、これがコンペでは損をしてしまう要因にもなります。大きくても、可愛い小2の男の子です。ですが、コンペではどうしてもこの体格から期待されてしまうのです。本来生まれ持っている音だけで演奏しているように思われてはいけません。多様に音色の変化をさせられるようにレッスンでも高度な要求が続きました。昨年は要求されている意味もわからず、ご機嫌が崩れてしまうこともありましたが、今年のまあくんはよく頑張りました。第一回目の本選で堂々の1位。これで、他のみんなも勢いづきました。そして、浜離宮朝日ホール朝日ホールでの全国決勝大会。前日のホールレッスンではあちこち思わぬミスをしていたまあくんでしたが、4曲を集中して弾ききりました。豊かな音、柔らかい音、情熱の音など心を込めて演奏するその姿はとても頼もしかったです。がんばったね！



梅 昌大くん

大村 菜ちゃん（小3）も昨年に続いて2回目の参加。参加級はA1からB級に上がりました。参加レベルが上がると課題曲も要求されることも難しくなります。昨年以上に頑張って頂かねば、という思いが私の中にありました。しかし、菜ちゃんは昨年、第一回目の本選直後に体調を崩して入院した経験からとても慎重になっているのがわかりました。気持ちは痛い程わかります。しかし、参加したからには全力を尽くして頂かねばなりません。また、B級の課題は本人がしっかりと曲の構成など理解していないと説得力のある演奏が出来ません。私が注意した後の菜ちゃんの「ハイッ！」という素晴らしい返事の割に、菜ちゃんの頭や身体の中にそれが浸透していかない現実にも焦りました。しかし、菜ちゃんは本番で一番の力を発揮する子です。生き生きと前に進む音楽を奏で、切れのいい粒立ちのいい音、メリハリの落差など秀逸な物を持っています。



大村 菜ちゃん

本選の日、昨年は病院から点滴を外してもらって駆けつけた本選会場から「一年ぶりのホール。去年辛かったのがウソみたいですよ。精一杯頑張ります！」とお母さまがメールを下さいました。素晴らしい演奏をし、優秀賞。そして、菜ちゃんもまた全国決勝大会に限りなく近い優秀賞でした。よくがんばったね！

沼田 遥菜ちゃん（小4）もコンペ2回目の参加。昨年同様B級です。遥菜ちゃんは緊張の場でも普段と同じ演奏ができること。これが大きな強みであるとともに弱点にもなりうるのです。「緊張の場での高揚感がとんでもない化学変化を引き起こして感動の演奏を生む」ことが、彼女の場合には難しいことでした。昨年も全国決勝大会に進んでいるので、今回はロマンの課題でわざと彼女の得意ではない柔らかい曲を選びました。それが思った以上に大変で、本当にどうなることかと気をもみました。イメージをひろげること、場面場面でストーリーを作ること、音を出す前にまず鳴らしたい音を頭の中で鳴らす事など、課題を伝え磨きをかけました。そして、本選第2位。全国決勝大会進出。



沼田 遥菜ちゃん

全国決勝大会に向けて毎日毎日レッスンに通ってきた遥菜ちゃんに、次なる課題、表現をもっとオーバーにすること、自分の音楽を会場のみなさまにお届けする意識を持つこと、指先を意識して、ほしい音を作ることなどを提示しました。なかなか実にならない様子に私の方が焦りましたが、ゆっくりとでしたが確実に消化していきました。それと共に、本番前に緊張する様子が見えました。音楽の奥深さがわかり、本番でいい演奏をしたいという欲が出てきた証拠です。津田ホールでの全国決勝大会、細部に心を込めて演奏できました。昨年より一皮むけたことを確信しました。ベスト賞、おめでとう！



稲垣光希くん

稲垣光希くん（小5）は3回目の参加。それも今年はC級です。C級は課題も難しく、当初は参加を諦めようかと思っていたようです。しかし、近現代の課題曲が光希くんにぴったりだったこと、バロックの課題が比較的弾きやすかったことで決心をしました。ところが、、、光希くんの今年の目標を尋ねると「間違えないで弾くこと。」「エッ!？」と思いました。昨年、B級で全国にも進んでいる光希くんの目標としては、稚拙に思えました。しかし、光希くんは確かに心が揺れる子、あがり症です。本番で持っている力を発揮したことは少ないかもしれませんが。この目標をまず受け入れ、あらぬプレッシャーをかけるのはやめておこうと思いました。第一回目の本選では上質な音で誠実な演奏が出来たようで、会場にいらした守谷の日吉先生から「全国に行けたと思うわ。」とお声をかけて頂いたとか、、、、。しかし、残念ながら優秀賞、、。2回目の本選に向けて、私はわざと光希くんプレッシャーをかけてみました。私ははじめから光希くんには全国決勝大会進出が出来ると思い、狙っていたことを伝えました。光希くんの全身に緊張感がみなぎるのがわかりました。そして2回目の本選。極度の緊張から指がもつれてしまったようでした。私がプレッシャーをかけなかったらよかったのかもしれませんが。しかし、それでは彼の成長につながりません。今回は残念でしたが、確実に光希くんの中に育っているものがあるように見えました。がんばったね！

石井美有ちゃん（小3）は2回目の参加。それもD級（中2までの部）に参加したいと言ってきた時には耳を疑いました。しかし、美有ちゃんもママも至って本気です。私も悩みましたが、彼女の人生にプレーキをかけるのはやめようかと覚悟を決めました。どんな結果も受け入れようと腹をくくりました。中学生の部ですからもっと豊かな音になるように奏法を変えていきました。そうしたら、腕を痛めたようで、今回のコンペの間中、この痛みで悩まされていました。しかし、美有ちゃんとママはどこまでも前向き。本選前日も痛みのために曲を通して弾くことが出来なかったのに「美有の本番力にかけてみます!」とお母さま、私は舌を巻きました。病院やマッサージに通いながらのコンペの間中、遂にこの母子は弱音を吐きませんでした。王子ホールでの全国決勝大会、会場の私が緊張で顔が引きつっている中、中学生に混じって堂々の演奏。見事でした!そして、ベスト賞、おめでとう!



石井 美有ちゃん



稲垣光希くんと朱音ちゃんがコンペに参加しているお友達のためにお守りを作ってきて下さいました。



コンペティションという同じ目標を持った者同士、合同レッスンや検定など共に歩く中でしっかりした仲間意識が生まれます。上の写真↑はコンペに参加しているお友達のために稲垣光希くん、朱音ちゃん兄弟が作ってくれたものです。この稲垣兄弟のやさしい心遣いに、みなが勇気をもらいました。2段目左の写真は、心が揺れる光希くんの第一回目の予選を応援に駆け付けてくれた石井美有ちゃんとの記念撮影、その他の写真は全国決勝大会に応援に来て下さった方々です。以下、沼田遥菜ちゃんのママのメール。「みなさん、応援に来ていただいてほんと心強かったです。（全国での演奏が）終わったら、みなさんの顔見て安心しちゃったのか、泣けちゃいました。遥菜じゃなくわたしが」

そういう遥菜ちゃんとママも、自分たちの全国決勝大会前日、石井美有ちゃん、梅昌大くんの全国決勝の応援に駆け付けていました。演奏者やママも心強かったことでしょうか、応援に駆け付けてくれた子供たちの心の中にも大きなものが育っていることと思います。石井美有ちゃん、沼田遥菜ちゃん、稲垣光希くん、北川愛梨ちゃんとママたち、有難うございました。

海老原恭平サクソフォンリサイタル

11月29日（土）

19:15 開演（18:45開場）

アミュゼ柏クリスタルホール

sax 海老原恭平

pec. 田村 拓也

piano.田代あかり

ステップ合格 おめでとう！！

流山ステップ		6/29	
渡辺帆乃花 (基礎1)	金丸 一華 (基礎1)	石井 夏月 (基礎3)	有賀 文音 (基礎4)
北川 真衣 (基礎4)	石井 天 (基礎4)	斎木 桜子 (基礎5)	松永 偲歩 (基礎5)
北川 愛梨 (基礎5)	松永 悠佑 (基礎5)	鷲谷 莉子 (基礎5)	中村 美結 (応用1)
神保和花乃 (応用1)	上田 結鈴 (応用1)	大西 和歌 (応用1)	秋葉 れい (応用1)
秋葉 里緒 (応用1)	服部 葵 (応用2)	北川 莉子 (応用2)	新田 彩桜 (応用3)
遠藤 怜奈 (応用3)	佐藤 駿介 (応用5)	坂本 菜帆 (発展2)	寺田絵梨花 (発展4)
大村 響 (フリー3)	有永 音羽 (フリー5)	梅 昌大 (フリー5)	梅 眞一郎 (フリー5)
大村 栞 (フリー7)	影山 裕奈 (フリー7)	沼田 遥菜 (フリー7)	稲垣 朱音 (フリー7)
石井 美有 (フリー10)	稲垣 光希 (フリー10)	上田 萌莉 (フリー10)	今村 樹乃 (フリー10)



右から2 松永偲歩



左から2 松永悠佑



左から2 上田結鈴



後列左 梅眞一郎



前左 梅昌大



前右 稲垣朱音

前左から2 有永音羽 右 上田萌莉



継続表彰

おめでとう！

継続5回表彰

- 有永 音羽
- 松永 偲歩
- 上田 結鈴
- 松永 悠佑

継続10回表彰

- 梅 昌大

継続15回表彰

- 梅 眞一郎

継続20回表彰

- 上田 萌莉
- 稲垣 朱音

敬称略



赤松林太郎先生のトークコンサートは会場の聴衆を一人残らず自分の音楽の世界に巻き込んでしまう気迫とサービス精神に溢れていました。会場は感動の嵐、スタンディングオーベーション。圧巻でした。

グレンツェンコンクール

**東京予選 8/21**  
今村 樹乃 優秀賞 (高校生の部)

グレンツェンコンクール東京予選に、今村樹乃 (高2) が参加、優秀賞をいただきました。高校の勉強や部活で忙しい中、よく頑張ったと思います。



一番左が芦谷ゆふ ニューヨーク ラフマニノフの墓の前

発表会の第1部の終わりの特別出演でみなさまにお目にかかっておりました姪の芦谷ゆふがこの度、アメリカのマンハッタン音楽大学の大学院に合格し、留学する運びとなりました。2年後には多くのものを吸収して帰国し、また、発表会でお目にかかるとお思います。

編集後記

教室の発表会直前の2月末のピティナピアノコンペティションの課題曲発表、教室のコンペ説明会、流山ステップ、コンペティションと息つく暇もなく時を過ごしてまいりましたが、その間にいつものことながら、お母さま方に温かいお心をかけていただきました。  
流山ステップ前夜の準備に駆け付けて下さった石井美有ちゃんママ千恵さん、上田萌莉ちゃんママ紀子さん、ステップ受付にお花をお届け下さった稲垣光希くんママ悦子さん、有難うございました。  
10月の教室のアンサンブルフェスティバルにも多数お申し込みを頂き、有難うございました。  
楽しいものになるように今から企画をしております！